

# 平成 1 7 年度 農作物病害虫発生予察 1 1 月月報

平成 1 7 年(2005年) 1 2 月 5 日  
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

## 気象概況

山口市大内御堀

月・半旬	気 温 ( )								
	9 時			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
11.1	13.2	12.1	1.1	22.0	19.6	2.4	8.9	7.4	1.5
11.2	12.1	12.0	0.1	18.8	18.8	0.0	7.7	7.7	0.0
11.3	12.0	10.5	1.5	17.0	17.2	0.2	6.5	6.5	0.0
11.4	8.5	9.1	0.6	14.5	16.1	1.6	3.5	5.3	1.8
11.5	6.1	7.5	1.4	15.3	14.8	0.5	1.8	3.5	1.7
11.6	8.2	6.8	1.4	16.2	13.6	2.6	3.2	3.1	0.1
平均・計	10.0	9.7	0.3	17.3	16.7	0.6	5.3	5.6	0.3
月・半旬	湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	11.1	99.7	92.0	7.7	3.0	13.2	10.2	32.0	28.5
11.2	99.2	90.9	8.3	60.0	12.1	47.9	27.4	24.4	3.0
11.3	88.1	94.8	6.7	40.0	14.3	25.7	19.9	22.4	2.5
11.4	95.1	92.2	2.9	0.0	13.8	13.8	19.7	22.1	2.4
11.5	100.0	95.3	4.7	0.0	12.2	12.2	30.9	23.4	7.5
11.6	88.9	92.6	3.7	7.0	11.6	4.6	26.6	19.8	6.8
平均・計	95.2	93.0	2.2	110.0	77.2	32.8	156.5	140.6	15.9

注 1 ) 湿度は平成 8 年度から測定方法を変更したため、過去 9 年の平均値を平年値とした。

## 作物の生育状況

- ( 1 ) カンキツ : 温州ミカンの果実肥大は平年並～やや小さく、着色は平年に比べやや遅れた。
- ( 2 ) キャベツ・ハクサイ : 生育は良好であった。
- ( 3 ) イチゴ : 生育は良好で、収穫開始期は平年並みであった。
- ( 4 ) はなっこりー : 生育は順調であった。

病害虫の発生概況

1 果樹

2005年11月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.5%(平成35.5%)、寄生葉率4.5%(平成3.5%)、10葉当たり雌成虫数0.4頭(平成0.8頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 92 少 923 計 1015
ワカガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.8%(平成12.1%)、寄生葉率0.2%(平成0.1%)、寄生果率1.3%(平成0.4%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 92 少 554 計 646
ツルカガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(平成5.7%)、寄生果率1.5%(平成0.3%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 92 中 185 少 369 計 646

2 野菜

2005年11月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ (調査ほ場数:6) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成22.9%)、発病株率0%(平成2.5%)、発病度0(平成1.0)で平年に比べやや少なかった。	-	-
白斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成17.6%)、発病株率0%(平成6.0%)、発病度0(平成2.9)で平年に比べ少なかった。	-	-
べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7%(平成70.0%)、発病株率15.0%(平成46.3%)、発病度3.7(平成14.0)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 92
黒斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0%(平成52.9%)、発病株率2.0%(平成13.0%)、発病度0.5(平成4.0)で平成並みであった。	県内全域	少 69
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7%(平成13.4%)、10株当たり虫数0.3頭(平成22.7頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 23
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(平成7.8%)、寄生株率0.7%(平成0.4%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 46
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成12.9%)、10株当たり虫数0頭(平成1.1頭)で平年に比べやや少なかった。	-	-
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(平成14.0%)、寄生株率0.7%(平成0.7%)で平成並みであった。	県内全域	少 46
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成5.4%)、寄生株率0%(平成0.2%)で平成並みであった。	-	-

注) ハクサイのウワバ類は過去8年の平均値を平年値とした。

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ シロイチモジヨ トウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.2%)、寄生株率0%(平年0.2%) で平年並みであった。	-	-
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.3%)、10株当たり虫数0頭(平年 0頭)で平年並みであった。	-	-
キャベツ (調査ほ場数:1 2) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率18.0 %(平年37.1%)、発病株率1.5%(平年 5.3%)、発病度0.4(平年1.4)で平年に 比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3 %(平年37.6%)、発病株率0.2%(平年 6.6%)、発病度0.04(平年1.6)で平年 に比べやや少なかった。	県内全域	少 49
菌核病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.3%)、発病株率0%(平年0.4 %)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年11.5%)、発病株率0%(平年0.7 %)で平年に比べやや少なかった。	-	-
萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認 められず平年並みであった。	-	-
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7 %(平年9.8%)、10株当たり虫数0.5頭 (平年0.3頭)で平年に比べやや多かっ た。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7 %(平年3.7%)、10株当たり虫数0.8頭 (平年0.2頭)で平年に比べやや多かっ た。	県内全域	中 16 少 16 計 32
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3 %(平年25.5%)、10株当たり虫数0.2 頭(平年1.8頭)で平年に比べやや少な かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7 %(平年31.6%)、10株当たり虫数0.2 頭(平年2.4頭)で平年に比べやや少な かった。	県内全域	少 32
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3 %(平年11.2%)、寄生株率0.2%(平年 0.5%)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年5.9%)、寄生株率0%(平年0.2%) で平年並みであった。	県内全域	少 16
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3 %(平年23.2%)、寄生株率0.6%(平年 1.4%)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3 %(平年14.6%)、寄生株率0.8%(平年 0.3%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 65

注) キャベツの菌核病は過去9年間の平均値を平年値とした。

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年11.0%)、寄生株率2.0% (平年0.4%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年11.6%)、寄生株率3.0% (平年0.5%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 少 計	16 81 97
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (平年14.8%)、寄生株率4.0% (平年0.6%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年9.5%)、寄生株率2.2% (平年0.5%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 少 計	32 114 146
シロイチモジヨ トウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0%)、寄生株率0% (平年0%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年1.2%)、寄生株率0.02% (平年0.03%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	16
ハイマダラノメ イガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0%)、寄生株率0% (平年0%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年1.2%)、寄生株率0.17% (平年0.02%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	16
イチゴ (調査ほ場数:1 9) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.5%)、発病株率0% (平年0.03%)、発病果率0% (平年0.01%)で平年並みであった。	-	-	-
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年27.0%)、発病株率3.1% (平年5.5%)、発病葉率1.2% (平年2.8%)で平年並みであった。	県内全域	中 少 計	6 30 36
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年3.0%)、発病株率0.1% (平年0.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	6
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、発病株率0% (平年0.02%)で平年並みであった。 1ほ場で、番外での発生を確認した。	柳井市	少	1
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、発病株率0% (平年0.02%)で平年並みであった。	-	-	-
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年33.0%)、寄生株率2.3% (平年6.7%)で平年に比べ少なかった。 優占種はワタアブラムシであった。	県内全域	中 少 計	6 7 13

注) キャベツのオオタバコガ、ウワバ類、ハイマダラノメイガは過去8年、シロイチモジヨトウは過去7年の平均値を平年値とした。

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イチゴ ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5%(平成12.0%)、寄生株率0.8%(平成1.9%)で平年に比べやや少なかった。優占種はカンザワハダニであった。	県内全域	少 13
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5%(平成19.0%)、寄生株率0.4%(平成1.5%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 6 少 7 計 13
はなっこりー (調査ほ場数:5) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40%、発病株率7.2%であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40%、発病株率1.5%であった。	-	-
べと病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められなかった。	-	-
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0%、10株当たり虫数1.4頭であった 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0%、10株当たり虫数1.2頭であった。	-	-
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0%、10株当たり虫数0.6頭であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0%、10株当たり虫数0.8頭であった。	-	-
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0%、寄生株率2.4%であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%、寄生株率0%であった。	-	-
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0%、寄生株率4.8%であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率80.0%、寄生株率3.2%であった。	-	-
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0%、寄生株率3.6%であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0%、寄生株率6.4%であった。	-	-
シロイチモジヨ トウ	中旬、下旬の巡回調査とも、発生は見られなかった。	-	-
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0%、寄生株率4.8%であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率100%、寄生株率4.4%であった。	-	-
ハイマダラノメ イガ	中旬、下旬の巡回調査とも、発生は認められなかった。	-	-
アブラナ科野菜 コナガ	山口市大内のフェロモントラップにおける11月の誘殺数は、21頭(平成89頭)で平年に比べ少なかった。	県内全域	-

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																									
野菜全般 ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップにおける11月の誘殺数は、1,421頭(平年1,028頭)で平年並みであった。	県内全域	-																									
	10/21～11/20のフェロモントラップ誘殺数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>概評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山口市</td> <td>1,631</td> <td>1,433</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>2,804</td> <td>1,922</td> <td>やや多</td> </tr> <tr> <td>周東町</td> <td>154</td> <td>243</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>128</td> <td>129</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>238</td> <td>254</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>2,393</td> <td>766</td> <td>前年より多</td> </tr> </tbody> </table> 阿東町の平年値は過去7年の平均値			地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評	山口市	1,631	1,433	平年並	周南市	2,804	1,922	やや多	周東町	154	243	やや少	萩市	128	129	平年並	阿東町	238	254	平年並	下関市
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評																									
山口市	1,631	1,433	平年並																									
周南市	2,804	1,922	やや多																									
周東町	154	243	やや少																									
萩市	128	129	平年並																									
阿東町	238	254	平年並																									
下関市	2,393	766	前年より多																									
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる11月の誘殺数は、25頭(平年3.3頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	-																									

注) 野菜全般のオオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数は過去8年の平均値を平年値とした。

お問い合わせは山口県病虫害防除所へどうぞ

電 話 0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 0 6  
 F A X 0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 7 1  
 テレホンサービス 0 8 3 - 9 2 7 - 4 6 4 9

作物 担当者  
 普通作：野崎(病害) 山本(虫害)  
 野菜：岡田(病害) 岩本(虫害)  
 果樹：村本(病害) 殿河内(虫害)  
 茶：岩本(病虫害)